国内ビリヤードの活況については地域差が拡大し、組織全体として取り組むべき全国大会や国際大会などの事業に関わって頂く上で、各地域別加盟団体による参画状況に偏りが生じ、各団体による負担の公平性を確保することが困難となっている。また、各種目別団体に於いても経営基盤の確保が容易ではなく、組織全体への貢献に余力を期待することが難しい状態となっている。しかし、このような状況にありながらも、組織の中央競技団体に位置する本部の役割として、組織全体が協調の下で機能することを目標に、内外の状況の変化から表面化してきた問題点について、少しずつでも着実に改善を重ね、今後の発展を可能にする基盤を構築していかなければならない。この課題に本部が継続的に取り組み、その成果を得るには、社団社員本部正会員による参加が必要不可欠となる。併せて、傘下店舗会員を主たる組織基盤とした地域別加盟団体からの支援、種目別加盟団体と所属選手会員からの協力、それぞれの立場と利害を超えた可能な限りの理解ある調整努力、加えて、各賛助団体から登録会員の愛好者に至るまでの応援を賜り、以って全国組織の維持発展に繋がるよう、冒頭に要請させて頂くものである。

1 組織改善に向けた段階的な取り組み

前年度からの持越しとなるが、普及活動拡充・競技体制整備・組織基盤整備の3大項目の中長期計画策定に取り組む。外部有識者の知見や一般会員の提言を参考材料に取り入れ、プロジェクトチームによる仮策定から最終的な確定の行程に向け、段階を踏んだ実現に取り組む。

IOCを頂点に連なる国際組織に組み込まれた中央競技団体の責務として、スポーツ組織の統括団体に求められるインテグリティ(高潔性)を決して失うことなく、社会的な認識と評価を伴ってその地位が確立されるよう、ビリヤード競技の活性化は実現されなければならない。この趣旨に沿って、本部が遵守すべきスポーツ庁策定に拠る中央競技団体向けスポーツ団体ガバナンスコードに基づいて、

- ・組織中枢としての健全性と適合性が確保され得る運営体制の構築(整備と改革)
- ・組織全体として求められる機能が効率的かつ適正に実現される制度の構築(基盤と連携の見直し)

に関して、遵守すべき必須項目について段階的な取り組みを行い、計画と履行状況を公開する。

スポーツ組織を形成する傘下団体に求められる原則と規範を示した一般スポーツ団体向けスポーツ団体ガバナンスコードへの段階的対応を促し、組織全体としてのグループガバナンス形成を目指す。組織全体として求められる基本的な事業の機能と役割が効率的かつ適切に分担し遂行され得る体制の構築に向け、昨年度に引き続き、基盤となる収支構造を含めた再整理と最適化に取り組む。

2 普及について

地域密着型の普及活動については地域別加盟団体の主導による積極的な活動を要請し、普及事業振興協力金によるサポートを継続する。普及に関する中長期計画が設定されるまでの間、賛同頂ける個人や団体からの支援協力を得て、関連する部門は委員会や部会がこれを担当し、本部で対応し得る普及活動も積極的に積み重ねる方針である。

生涯スポーツとしての普及活動

- ・高齢化社会に見込まれる需要に対応し得る支援体制の整備と構築を視野に、加盟団体による協力と賛助団体による支援の下で、自治体や公共高齢者施設等からの要請への都度対応を継続する。

ジュニア世代への普及活動

- ・体育の日の体験型中央競技団体記念行事「スポーツ祭り」への参加。
- ・公共児童施設からの依頼・要請に対応した普及の場の提供。用品類の貸与・贈呈・保守の継続。
- ・キッズビリヤード部会が担当する活動の展開。

障がい者スポーツとしての普及活動（パラビリヤード）

- ・イベントの試行的開催・自主的な地域活動への協力などで臨機応変に対応。持続可能な経営基盤の確保を前提にした適切な形態を模索し確立を目指す。

全日本学校対抗選手権大会・日本学生選手権大会

- ・継続開催。一昨年度からの運営主体の実質的刷新を契機として、引き続き各地域からの参画状況を参照して事業内容の再点検を行い、改善に取り組む方針である。

3 強化について

加盟国際統括組織による主要国際大会への代表選手派遣

JOC 委託選手強化 NF 事業として JSC 競技力向上事業助成の下、以下の大会への選手派遣を予定。アジアインドア&マーシャルアーツゲームズについては、選手 9 名と帯同スタッフ 2 名の選手団を派遣する予定。助成外の経費として協力金から積み立てた特定費用準備資金を充当する。

- ・女子スリークッション世界選手権・スペイン・9/23~9/25
- ・ジュニアスリークッション世界選手権・スペイン・9/26~9/28
- ・スリークッション世界選手権・ベルギー・10/14~10/18
- ・スリークッション世界選手権国別対抗戦・ドイツ・2/26~3/1 (2026)
- ・ジュニアスリークッションアジア選手権・未定・未定
- ・アーティスティック世界選手権・トルコ・6/18~6/21 ※助成内容点検中
- ・9 ボール世界選手権・未定・未定
- ・ジュニア 9 ボール世界選手権・未定・未定
- ・女子 9 ボール世界選手権・未定・未定
- ・女子 10 ボール世界選手権・未定・未定
- ・10 ボール世界選手権・ベトナム・9/17~28
- ・ジュニア 9 ボールアジア選手権・未定・未定
- ・6 red スヌーカー世界選手権・モンゴル・8/18~8/30
- ・スヌーカー世界選手権・カタール・11/3~11/15
- ・アジアインドア&マーシャルアーツゲームズ・サウジアラビア・未定 (2026)
- ・WCBS チャンピオンシップ・未定・未定

IWGA 国際大会 選手団派遣

ワールドゲームズ 2025（成都/中国・8/7~8/17）に参加。選手 1 名帯同スタッフ 1 名を派遣する。
JWGA 委託事業として JSC 助成の下で実施する。

JOC ジュニアオリンピック大会

ジュニア対象の国際レベル育成強化。4/6 に全日本ジュニア 9 ボール選手権大会を開催。

強化関連事業支援の適正確保

強化事業に於ける公金助成への依存度を下げる必要があるため、本部支出の負担が重い選手強化 NF 事業の内容については見直しを実施する方針。必要に応じて専門機関を設置。強化事業は中央競技団体の存在意義を問われる重要部門であるが、普及事業とのバランスが配慮されねばならない。収支全体による制約やプール・キャロム・スヌーカー 3 種目間の調整の考慮に入れた施策決定が必要となる。

4 国内大会事業

大会主催

- ・全日本ジュニアナインボール選手権大会・東京・4/6
- ・全日本アマチュア四ツ球選手権大会・東京・5/24～5/25
- ・全日本スヌーカー選手権大会・東京・5/31～6/1
- ・全日本アマチュアナインボール選手権大会・兵庫・6/28～6/29
- ・全日本バンド選手権大会・大阪・7/12～7/13
- ・全日本カードル 47/2 選手権大会・愛知・9/6～9/7
- ・全国アマチュアビリヤード都道府県選手権大会（国スポ記念大会）・青森 他・10/4～10/5
- ・全日本アマチュアカードル 42/2 選手権大会・愛知・10/11～10/12
- ・全日本女子四ツ球選手権大会・未定・未定（11月）
- ・全日本アマチュアスリークッション選手権大会・愛知・10/25～10/26
- ・日本学生ナインボール選手権大会・兵庫・11/16
- ・全日本アマチュアバンド選手権大会・東京・12/6～12/7
- ・京都オープン・京都・未定（2026）
- ・全日本スリークッション選手権大会・東京・未定（2026）
- ・全日本女子スリークッション選手権大会・東京・未定（2026）
- ・全日本ジュニアスリークッション選手権大会・東京・未定（2026）
- ・全日本学校対抗ナインボール選手権大会・東京・未定（2026）

大会共催

- ・全日本アマチュアポケットビリヤード選手権大会・愛知・11/8～11/9
- ・全日本選手権大会（プール部門）・兵庫・11/18～11/24

大会公認

従来からの公認体系について、段階的な見直しを実施する予定。

5 広報事業

広報媒体の整備

公式ホームページ内容の拡充。協会組織案内冊子の改訂に着手を検討。

寄付及び協賛について

スポーツ組織は助成に依存しない体質を構築すべく財政基盤の強化を求められており、自助努力による組織運営の維持がより必要となる。HP内に設置した寄付及び協賛の窓口を有効に活用すべく、資金の確保が必要な各事業について、その内容を再点検した上で、広報にて寄付協賛を呼びかける方針である。

6 会員登録の管理について

会員登録システムの刷新

CS 会員登録管理システム刷新導入について、今期にスムーズな運用ができるよう事務的な調整を進める。年度毎の有効期限設定など、会員登録に関する基本的な仕組みについては維持しつつ、プラスチックカード発行の廃止などにより合理化を実施する。

7 各種委員会などによる活動

各種委員会の所掌する業務の効率化を図るべく、必要に応じて再編整備を実施。

アンチ・ドーピング委員会

アンチ・ドーピング遵守体制確保は、選手を含めたスポーツに携わる全関係者の義務と定められており、世界標準の新基準 CODE2021 への段階的対応が更に必要となる。競技ビリヤードの現状として、組織的な啓蒙活動による周知と認識が不十分であると評価されており、改善には本部と傘下団体の協調体制が必要不可欠となる。JADA オンラインセミナーやeラーニングの活用を予定しており、担当構成員の再編から活動体制の整備に至るまで、理事会が主導して調整にあたる方針。

協力金実行委員会

現時点の管理運用体制を継続。より適正かつ効果的な資金運用を実現する為の改善を適宜に実施。運用上必要な規定規約類の整備を理事会で調整。

公認レフリー・コーチ制度委員会

休止中であるが、APBU 国際レフリーライセンスの取得プログラムにおけるライセンス既得者には不利益が生じないよう考慮し、国内公式ライセンス制度の構築に向けた施策を中長期的な時間軸で講じる方針。

普及推進委員会

普及活動全般を俯瞰的な視点から戦略的に企画し統括にあたる機能を前提にした体制を整備中。

キッズビリヤード部会

本部主催事業としてキッズ世代への普及活動の実践にあたる。首都圏中心の現時点でのローカルな普及活動から、各地域で実践し得る全国的活動へと受け継がれて発展することを目標に、引き続き手法と体制の確立を目指す。

国スポ関連対策部会

理事会が主導した事業方針に基づいて、理事会が代替して国体関連事業全般の推進と遂行の管理を担当。地方組織との間で必要な調整と支援にあたる。実行可能な都道府県に於ける国スポ記念大会、及び全都道府県での開催を継続するデモスポ競技について、都道府県組織設立を含めた進捗の管理にあたる。5/10～11 に滋賀県協会運営主管による滋賀国スポ・デモスポ競技が開催される。

ジュニアプール部会

ジュニア世代の育成から強化までの事業全般を担当すべく整備中。

一般普及活動部会・パラビリヤード部会

機能整理と体制整備に向けて調整中。

広報委員会

広報の基盤となる HP 整備を適宜に実施する方針。

ルール委員会

改訂版の HP 掲載を予定。

倫理委員会・コンプライアンス委員会

原則として理事会内に設置。インシデント発生時に対応。

助成金審査委員会・選手選考委員会

所轄すべき機能の整理と体制の整備を進めつつ、当面の必要な機能は理事会が主導して代行。主要国際大会への派遣選手選考過程については、正当性と透明性の確保がガバナンスコード遵守事項の重要項目と定められており、規約化が必要な対象について対応を進める方針。

役員選考委員会

中央競技団体ガバナンスコードの定める原則に基づき、早期の設置を予定。